大正十年十二月二十日 第三種郵便物認可　昭和十五年六月十八日　磐城新聞　（火曜日）　第五千八百四十八號　[一]

夕刊
磐城新聞
六月十七日發行
東京振替一八〇・五六五番

渡鹿野島

梅田章

（一）

伊勢へお參りに行けば鳥羽へまわつてその風光を樂しんで來るのが私の今迄の例であつたが、今年は少し奥へ入つて波切から大王崎の方へまわり、大洋の怒濤を見てやらうと思ひ志摩電鐵へ乘つたが途中で、渡鹿野島といふ勝奇的な島があることを聞いて、降りる氣になつた。その島、宣傳パンフレットに「渡鹿野」いゝ島は昔は對岸の的矢港陸つゞきであつたども往時は太洋を航行する船は必ず寄つたもので、今尚昔の面かげはとゞめ、弦歌のさゞめき知る人ぞ知る樂天地である」といふのである。

島へ渡る船は穴川驛から出る。そのホームに大阪者らしく輕く話す男が二三人私に續いて歩いてゐた。

ふと私を待つてゐた樣に一見バタ屋か、無頼漢のやうな色の淺黒い眼の光つた男が前に來て、渡鹿野へ行くのかと聞く、私はその顏つきや態度、口振から恐怖感をおぼゑたが、大阪者の方へ行つて船を出すことに話をつけたらしいので、この二三人が一諸に行くのなら間違ひなからうと不愉快ながら同乘することにした。

まだやつと春が闌けたと思はれる頃であつたがその男は木綿絲でその紋びを引つぱり合せたジャケツの上へ垢じみた合羽を引かけて居て、額にジックリと汗を吹せてゐた。ズボンはカーキ色のよれ／＼になつたのに機械油が重さうにしみ着き、ずぼんのボタンははずれて、私の不愉快さはいやが上にも增した。

船はめづらしい凪の內海をすべつて行つた。この灣は非常に淺いためか船が通路も限定されてゐる。船業者がたてたといふ篠竹がその眼じるしで、そこに沿つて船はゆく。漁船をみることは少いが海には牡蠣、眞珠が養殖してある。この海の眞珠は冬は水流關係で紀州に移殖するとの話であり大阪者がその無頼漢から、眞珠は海の中へ伏せてから三年か三年半位が採集に適當な時期だといふ風な答を得てゐるのが、荒い機關の音に混つて聞ゐる。

やがて島山の上に立札がみわて、それが渡鹿野島であるといふことが解つてくる。それは島の裏側にあたる。船はこれから岬と岬との間に大洋の見ゐる表側の船着場へまはる。二三艘の大きい船がすでにその沖にかゝつてゐて帆をおろしてゐる。

私達は船着場に干された乾いた海草を踏んで、宿引の女に聲をかけられた。案內されて旅館には、土曜から日曜にかけて來た遊客を送つたあとでガラリとして、ドテラや浴衣が二階の手摺に干されてゐて、しばらく振りで海風に吹かれて居るのかしみ／＼とゆとりの心を私に湧かせた。

新刊紹介

△國民法律顧問六月號（會費半年分一圓二十錢、一年分二圓二十錢東京市荒川區尾久町五の一、一八一其會）

6月 18日

△ウオートルローの大戰（一、八一五）△英國、婦人に參政權を與ふ（一、九二八）

ひとりごと

○

其の病を治せんと欲せば先づその心を治めよ　太白眞人

講談　夜嵐（よあらし）お絹（きぬ）

[96]　悟道軒圓玉　筒井直衞畫

上野を落ちる

「旦那さん笠を取つて辰頭に顏を拜ませておやンなさい」言はれておきぬが菅の笠をパラリと刎ねた、髮は潰し島田、白の丈長をかけ、鼈甲の利休型の櫛髮の裝飾もよし、それに美人と來て凄みがある、辰五郎は吃驚して

「おきぬさん、何ンだつて斯んな危い所へ來たんだ」

「尋ねる人があるんですよ酒井さんは何うしたね頭」

酒井さんは達者でゐますか」

「そいつは俺には判らねえ何しろ斯んな所に居ては危ねえ、サア早く山を下ンなせえ」

と云ひ捨てゝ鳶頭の辰五郎は本坊の方を指して行く內に彰義隊はドッと崩れてる山內へ洪水の如、流れ込む折しも彈丸はバラ／＼飛んで來るそこで三樂はおきぬの手を引いて谷中口まで逃げた。

彰義隊は必死になつて防禦したが黑門も破れて爲に總敗軍、酒井豊之助は一方の血路を開、是又谷中口へ來たが、茲は官軍の兵が居らぬ、そこで此處より脱して三河島から尾久へ落ち日の暮れるを待つて山谷堀の船宿山崎屋に來た當家の主人とは懇意の中、此處に一時休息しておきぬの許へ使を出したが封間の三樂と共に今日正午頃家を出たがまた戻らぬとのこと乃で豊之助は山崎屋の主人の衣類を借りてスッカリ町人の姿となつて、自分の住ひ本所原庭を指して其夜の四ッ頃に山崎屋を出て吾妻橋までかゝると茲にはかがりをたいて紀州の兵が固めて居ります、もう此の時には全く雨が歇み十五日の月は淸い光を投げてゐる

「待て／＼何方へ參る」

「本所の親類へ參ります」

「何ンな用事があつて行くか」

「急病人でございまして」

「一應檢べる」

と身体檢査をしたが短刀一振も無、斯んな事もあらうかと豊之助は大小を山崎屋に預けて來た

「宜し／＼早く行け」

「御免蒙ります」

會釋して吾妻橋を越ね佐竹侯の下屋敷につき右へ曲ると中の郷角に尼寺があり門前にさいかちの木があつて是をさいかち寺と云ふ、此の寺の築地について二三丁進むと原庭です、小さな旗本邸、御家人の組屋敷がある、自分の住宅の前に立止つた豊之助、ホト／＼と門を叩くとそれへ出て來には門番の六藏、豊之助を見て

「これは殿樣どうなさいまして」

「言ふ事もあるが、それはゆつくり話す、あゝ草臥れた」

と云ひつゝ邸內へ入るとそれへ馳けて來たは手飼の白犬、豊之助を見ると尾を振つて飛びついた

「可愛い奴だナ、時に六藏屋敷に變つた事はないか」

「お屋敷に變つた事はございませんが、貴方のお姿は大層變りましたナ」

「斯う云ふ扮裝でなければ此處まで無事に來る事は出來まい」

「上野にお在でなさるといふ事ゝ聞きましたが、何しろ貴下のお先途を見屆ける事は出來ませんで」

「孫助は居るか、居るならば呼んでくれ」

「ヘエ、孫さんも心配して居りました」

六藏は其處を去つ、間もなく出て來たは用人と若黨を乘ねしめる孫助

「殿樣、御無事で御引揚げなさいましたか、お目出度い事でございます」

「ウム、引揚げたと云ふと体裁は宜いが、其實は山から逃げゝ來た、おれは今度上野を死場所と覺悟したがまだ業がつきぬか、不思議に生命は助かつた、サテ人間は死ねぬものだナ」

「さやうでございます、然し殿樣茲に長くお在でなさる事は來ますまい、先刻お隣の濱口樣へ官軍が押して來まして鐵砲を打込みました、彰義隊と見ると何にも言はずに射殺すさうでございます」

「官軍の勝つた勢で威張つてゐる！」

と云つて笑つた

習作集

六月の太陽（其の二）　石井陽光

○明易しいかゝしたゞ道しら／＼
○樹林に光と影と蔦若葉
○若葉の靜さを刻々蝕んでゆく毛蟲
○ツーストライクスリボールこの一瞬と薰風に
○此處は釣れないが青芦に沒して居たい
○水まはし浮子をめぐりてすそがるゝ
○麥枯穗に斜光至りてほけにけり

燈火管制用電氣カバー
此レダ／＼　規定通り試驗濟の
模範燈火管制ニハ是非御利用チ
六〇ワット以下ノ電球ニハ調節自由ニ減光出來マス
空襲管制ノ場合ニモ調節ニテ消燈同樣ニナリマス
長時間遮光スルモ器具ニハ燃燒ノ恐レアリマセン
防空用器具、投砂袋
折疊式竹網、管制カバー
平市南町三〇番地
製造元　福屋漆器店
工場南町四六番地
電話「呼」七三二番
振替口座東京八二、九九九番

或は下痢或は胃腸を害ねたりして三日四日も便通がなくて頭痛を覺ねる御方はキヽメの早い
靈効散
胃腸藥
を御試し下さい
胃腸病。心臟病。腦。痔。消膿藥
三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本藥一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい。
平市古鍛治町縣社ノ下
總方發調劑所　阿康藥局
電話四四四番
振替口座東京三〇〇六五番
定價　一五十錢　八日分　壹圓　廿日分
御子樣方には飲み易い小兒靈効散があります。

御婚禮着付
和洋結髮
パーマネント・ウエーブ
貸衣裳、貸かつらを御利用下さい
何卒御用命の程を
手塚美容院
平市新田町
（徒弟入用）

初夏の味覺
とんかつ専門の店
興亞の春を前にどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します
平市仲田町（電話四六五）
かの家

内臓外科
泌尿器科
レントゲン科
北川外科
醫學博士　北川芳夫
◎入院隨時
平市新川町（電話六四番）

男女車掌募集（三名）
1、年齢十六才ヨリ十九才マデ
2、未經驗者ニテモ可
3、給料其他ハ委細面談
合名會社　平、四倉乘合自働車
平四丁目　電五九四

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
内務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長　醫學士　金森五郎

コーライト
木炭・豆炭・コークスの代用燃料
三菱コーライトヲ
御奬メ申上マス
特長……火力強ク火持チヨク、木炭ノ半値
御使用ハ御家庭用ノコンロ、火鉢、鍛治用
一俵（五〇キロ）カラ配達致シマスドウゾ御注文下サイ。
昭和十五年六月
平市田町二
ツ　阿部石炭商店
電話　一三七番　三七番

▼男女車掌募集
平市四丁目
鈴木自動車部
電話二一七番

アイロンの底から蒸氣が吹き出る
＝電氣アイロンの時代は去る＝
實用新案　硬質陶器製
輕便スチームアイロン
特にステーブル物には絶對的し其他一般織物には効果優秀なる事保證致します
本器　最大特長
一、キリを吹きかけなくとも自動的に蒸氣が出ます
一、アイロンは輕く肩は凝らず然もキ、メ萬點です
一、家庭の火鉢で簡單に蒸氣が出ます
一、如何なる織物も蒸氣アイロンに優るものは有りません
自動蒸氣發生裝置　定價　金貳圓八拾錢
販賣店　濱三郡配給所　とらや旅館
平市田町三番地　電話六四八番
販賣店　平驛前　村山書店

外科一般
内臓外科
性病科
肛門病科
木村外科醫院
平市南町十四番地（警察署通り角）
（舊診療所　平市六丁目）
木村淳
電話三〇九話
◎入院應需

產科
婦人科
專門
平市南町
根本醫院
（入院隨時）
電話三四番

皮膚科
泌尿器科
性病科
專門
診療時間　午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士　江尻伊三郎
入院隨意

平みやげ
磐城平の名所地が
一目でわかる
米屋の名物最中
風味自まんの米屋の最中
平驛前通り
米屋最中
専門店

月曜論說

地方商人の善導

先づ以て平市内に實施する事となつた砂糖配給の切符制を更に郡下各町村に及ぼさんとする當局の措置は時節柄消費大衆の安心之を多とする處であり、今後その運營のより順調圓滑ならんことを祈念して措かぬ。

惟ふに我が國の統制機構は目下完成の過渡期に在る。個別統制から綜合統制へ。自主統制から公權統制へ。之が即今辿りつゝある而も秩序ある過程で地方の砂糖切符制も瞭かにこの軌條に乘つた一施設と云ふ事が出來る。"この統制は五年や十年や二十年で元に復するものではない、統制經濟は恐らく半永久的のものであらう、元の自由主義に戻ると云ふ考へは歴史の法則に反する、封建制度から古い形の資本主義へ、古い形の資本主義から新しい形の資本主義へ、それが歴史の照明する針路だ、戰時体制下の發氣を觀測しようとする人はまづこの本質を認識して置かねばならぬ」と或る權威者が云つてゐる今日への善處策であり最術たる助方にして尚ほ之のヒットなつた事を謳歌するに吝かでない。蓋し之に因て一部商人間に於ける好況の山の高さと、消費者側に於ける不自由の谷の深さとが著しく平準化さるることが必至だからである。由來昨今物の賣買に關して往々經濟警察上の違反行爲となるのは、國家の戰時的必要から爾く規定された結果であつて犯情を呑み込めぬ當業者が犯罪に關する自發的の道德的反撥心によつて之を避けることの出來なかつた場合も未だ必ずしも少くない模樣である。此際國策的に何をなし何をなさざるべきかの常識を普遍化することが當面の問題である。今回の砂糖切符制は消費大衆の不自由を殆ど徹底的に匡濟し得た一面、時局下の地方商人に對し刻下の經濟道德上その爾從する處を指針して遺憾無く、當事この筆法で啓發指導したならば其の結果いそ眞に期待するに充分なるものがあらう

梅雨態勢に農家喜ぶ
目睫に田植ゑを控へて
水不足の懸念全く解消

數日間遅れたものゝ四時の運行誤りなく昨夜から降り出した雨は愈よ目睫に迫つた田植ゑの水不足の心配も解消して地方の農家は墨の如き四擔の暗さと反對にいとも朗かである。けふ午前十時神谷農試分場觀測の坪當り雨量は一二・五ミリ(二斗二升八合七五)案より大した降りでは無いが、假令にあがりさうにも無いこの降りは恐らく田にも畑にも當面の用を欠く樣な事は萬あるまじく、一滴千金も誇張ならず眞に旱天の慈雨たるを失はぬ有り難い天の贈りものではある

三科會力作展 盛況
けふ好評裡に終る

地方の美術人から成る三科會の第一回展覽會は既報の通り一昨十五日から市公會堂日本間に開催、蓋あけ早々多數の入場者あつたが二日目の昨十六日は日曜を利用する鑑賞家非常に多く今十七日を最終として大成功裡に閉會した。出陳次の如く就中香山太宣氏の日本畫「ひよどり」中西一路氏の同「早稻みのる頃」の大ものもあり、本多朝忠氏の彫刻が間に合はなかつたのは淋しかつたが場内何れ劣らぬ力作揃ひに此種の企てとしては地方稀の盛況を見せた

第一室　油繪

一、泉ケ岳冬景青山勤(非賣)二、新緑の白水同人(非賣)三、春望同人(非賣)四、岳同人(非賣)五、勿來海岸柴田善登　六、標本同人　七、移植同人　八、沼の内同人　九、朱卓貝殼高瀬勝男　十、卓上雜草同人　十一、ばらB同人　十二、ばらA同人

第二室　日本畫

一、ひよどり香山太宣(非賣)二、晴悦同人(非賣)三、薬陰同人(非賣)四、石南花中西一路(非賣)五、磯邊同人(五〇圓)六、月明同人(一五〇圓非賣)七、白夜同人(一五〇圓非賣)八、磯同人(非賣)九、早稻みのる頃同人(一〇〇〇圓)十、早春小林朱士　十一、池端同人(一〇〇圓)十二、庭の一隅同人(一〇〇圓)十三、田舍同人(五〇圓)十四秋同人(一〇〇圓)十五、子物同人(三〇圓)

平鐵道野球

平鐵道倶樂部春季野球大會は十六日平工校庭に於て機關區(筆陽　乘務員)驛、車掌區保線區の各チームにより行はれたが結局7—1で保線區が車掌區を破つて優勝した

東北鑛山の實相
仙台中央放送局の 鑛業報國 座談會要領(四)

○小坂鑛山勞務係長梅田君　主として井岡の方で保育所と幼稚園をやつて居ります。

保育所は女工が仕事に出た留守の間赤ン坊や子供を預ることにして居ります。午前六時から午後四時迄生れて五、六ケ月の乳兒から五六歳までの幼兒を母親の出動中預る譯でございます

赤ン坊には午前九時に山羊の乳を與へ十一時と二時には母親が乳を飲ませに來ます。

乳兒以外の子供には九時オヤツ十一時に昼飯を與へます。

保育所は遊戯室や赤ン坊の部屋や寝室の部屋又食堂や料理室等設けて居ります只今一〇〇人位保育して居りますが仲々賑かです。

○司會　共濟の方はどうですか釜石鑛山の澤村君

○釜石鑛山勞務者澤村君　我等勞務者にとりましては共濟問題は重大問題でありまして、釜石鑛山の厚道會では申合せに依つて大體次の樣なことを行つて居ります。會員及家族死亡の場合に於ける弔慰金　家族傷病見舞、災害見舞、癈疾見舞、出産結婚、入退營祝儀退職餞別金等であります。

そこで夫等の費用は其道會々員は毎月會費を納めて居ります。

會社からも夫と同額の金額を支出して貰つて先きに申しました共濟の事業を行つて居るのであります。

○司會　次に勞務者の國策への協力と云つた方面で公債の買入貯蓄增加等種々實施して居られることゝ思ひますがこの點に付小坂鑛山の小山君に御願ひ致します。

○小坂鑛山係員小山君　從來から貯金は會社の方でも色々便宜を計られ奬勵して居られますので現在では小坂、花岡で三十六萬圓位あります。この外に一昨年ゞ八月に從業員全部で貯蓄組合を作りまして初めは一ヶ月千八百圓位づゝ貯金して居りましたが昨年六月に倍額貯蓄を目指して努力致しました所か一躍三千八百圓に增加しましてこの貯蓄組合の方も既に五萬圓位になつて居ります。

公債の買入れですが直接郵便局から買ふ人も相當ある樣ですがこれは一寸分りませんが會社で取扱つて世話して頂きましてこの間二月の募集の時には一萬圓程買入れました

起死回生の歡び
早期入院に宿命を克服して
成績良好の望洋莊

豐間町の望洋莊は全國九ヶ所に設けられた健康保險組合の施設中東北六縣唯一の結核療養所として呪はれた宿命に蝕まれ行くいのち悲しく死闘を續くる同情すべき何名かの人達は日々松籟濤聲を友に只管回春の日を待ち詫びてゐるが、同所は何れも早期の入院者で經過も極めて良好なるが多く、在院者は常に定員(四十名)一ぱいの好成績であり、薄倖な各方面の病者から起死回生的の溫いベッドとして喜び迎へられてゐ

ると

乳幼兒檢診
當局で健康指導

昨年行はれた市内乳幼兒檢診の不成績に鑑み縣當局では來月から九月まで母性乳幼兒の一齊檢査を行ふ外指導醫巡回指導婦によりこれを指導することゝなつたので市當局ではこれを前に昨年四月一日以降出生の該當兒を調査中である

各方面を網羅して
戰時食糧報國大評定

縣精動支部主催戰時食糧報國運動協議會は二十二日午前十時から市公會堂に上塚學務部長、佐治主事補らが臨席開催、節米供米の增産概要と本縣に於て實施すべき方針を指示說明後こゝに關して協議するが參集者は平市長並に石城郡下町村長産組部會長、警察署長、教育部會長や各種團體など、あらゆる方面を網羅してゐる

磐中大捷す
對双中野球戰

磐中、平商では十六日双中を迎へ勝つたが戰績は

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
磐	5	0	0	6	1	3	0	2	A	17
双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
双	0	0	0	0	0	0	0	1	A	1
商	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地方で二千萬圓
精動割當ての愛國貯金

精動本部から地方へ割當てられた愛國貯金は

平市三百萬圓

石城郡千七百五十五萬五千圓で各町村内譯次の如くである(單位千圓)

泉	三四二
錦	六八五
川部	三九七
荷路夫	四七
高久	一
小名濱	一、二四三
内郷	二、七〇三
山田	二三四
入遠野	二九八
石住	三八
豐間	三二八
玉川	一七三
好間	一、二二三
永戸	二二九
澤渡	一二五
大浦	三四〇
川前	二六二
草野	三七一
上小川	一七二
渡邊	一五〇
勿來	八六〇
田人	二三七
夏井	二〇〇
鹿島	一四九
湯本	一、五九六
植田	六三四
上遠野	三三三
貝泊	四八
飯野	二四五
江名	五五九
磐崎	六三六
赤井	五九八
箕輪	一一五
三坂	二三九
四倉	六〇七
神谷	二七五
大野	三〇八
下小川	一六一

「ぼたん」の情純(二)
ユーワイ生

「ぼたん」はやはりこういふ場所には不似合な存在だ。野暮な話だが平から東京への經過などを聽くその話はこゝに省く。とも角今は生れた小供を育てるためにこゝの酒場に通勤してゐるのだといふのだ。

最初自分の想像は「ぼたん」といふ酒場に「ぼたん」が居るのだから當然「ぼたん」がパトロンの援助でも得て自ら經營の任に當つてゐるのだと早呑み込みしてゐたのだ。ところがさに非ず全く偶然「ぼたん」に住み込んだのだといふ只一介の傭女でしかないのだ、この店での呼び名も「ぼたん」でなく別の名ださうだ、そして夜は可愛い小供の側に歸るのだといふ。これだけの話なら別に珍しい事でもなかつたがこれからの話が更に「ぼたん」の純情さを躍如たらしめるのだそれは

──▣──

「この間平のNさんが偶然見つけられましてネ」と「ぼたん」が言ふNさんなら自分も滿更知らない仲でもない。

「それは珍らしいどんな樣子だつた」

と聞くと

Nさんは尾羽打ち枯らして來たのださうだ、滿洲に行つて失敗してホロ〳〵の目に遭つて舞ひ戻つて來たといふのだ、平までの汽車の切符だけは友人から惠まれて持つてゐたが嚢中無一無で何とも致方ない有樣だつたといふ、それで「ぼたん」は非常に同情してなけなしの巾を金着をはたいて

「それでも五圓足らずの金でしたワ」といふそれを差し上げたといふのだ

自分は「ぼたん」の純情に打たれた。

それにしてもおかしい平のNさんならこの間遭つたばかりだしこの頃の好況に乘つて相當景氣のいゝ筈だ滿洲に行つた話などは勿論聞かない、酒場女風情をだまして僅かばかりの金を捲き上げるなどは甚だけしからぬ串談にしても少々惡ど過ぎると思つた、それをこゝで話しては折角の「ぼたん」の純情を傷ける樣な氣がしたので

「それはいゝ事をした」と合槌を打つてゐた

親も吃驚この卵
なんと普通の約四倍

これは素晴しい國策卵——といふから全く珍らしいしろ物である

鹿島村飯田農永井佑佳さん方の何れも産卵率良好な多數雞中の一羽が數日前産んだ卵が何んと六十匁余、普通の約四倍と云ふ超弩級でこれを貰つて來た親戚の市内五丁目島目忠吾さんも話にも聞いたことが無いが三つ見かナと割るには惜しく大切にしまつて居るがたまにある双生卵でせいぜい二十匁位だ

平署内庭球戰績

平署内對抗庭球班試合は昨十六日同署コートに擧行したが珍プレーも出て大賑ひ、入賞左の如し

1伊藤柴田組2渡部(署長)鈴木3齋藤、星4作田、野地5菊池、齋藤6岡田、小椋7本田、兒玉8鈴木、白土9馬場、阿部10關内、木村

柔は磐城、劍は相馬
濱三郡中等武道戰績

濱三郡中等學校柔、劍道大會は十六日平商業道場で擧行、磐中、平商、双中、相中の四校(相馬農蠶不參)のリーグ戰で熱戰を續けた結果柔道は

磐中二十點、平商十六、相中十三、双中六

の順で地元磐中に凱歌があがつたが劍道は

相中十二點、磐中、双中各十一、平商八

磐女日立に捷つ

磐女では十六日日立製作所女子軍を迎へ庭球對抗戰を行ひ三種目とも日立軍を一蹴した

精神異狀 翁溺死

内郷村役場、上宿恒吉さん父無職岡部文治(六〇)は一と月前から精神に異狀を呈してゐたが十六日家を飛び出し、夏井川附近を歩行中誤つて河中に轉落溺死した

車中卽事
瑞雲　小野務平

火輪薄暮疾如飛

絃月鎮窗霜有威

客裏猶欠採温具

人々相寄戀重衣

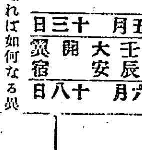
平市慶弔錄

△出生　立町三七齋藤清明氏三女ミサさん

十六日
【小名濱測候所觀測】

滿潮　前四、一〇　後一、三五

干潮　前九、一〇　後九、〇五



舊五月十三日　翼宿　開　大安　壬辰　火曜　新六月十八日

▲一白　心靜かなれば如何なる災難も無事に濟べし▲二黑　輕卒に走るときは目上の信用を失ひ失墜す▲三碧　德を磨き行ひを正し律義一方に出づべき日▲四綠　しづみたる氣を引き立て心をそろへて勵むべし▲五黄　表面柔に捕はれ易し人の世話事は大凶たり▲六白　訴しよう爭ひ事は凶なれど地味の事には吉き日▲七赤　吉いとて調子に乘るな早まればどろ田に陷る▲八白　邪路に迷はず口舌を戒しめ内を固くすべし▲九紫　初めたつゝしみ盆まんなれば末亦吉かるべし

天氣豫報
小名濱測候所觀測

今晩　北東の風雨時々曇

明日　北の風曇一時晴

田毎のみつまめ

白蜜と赤蜜
あんみつ
苺ミルク

田町 電632

外科一般

内臓外科
肛門病科
皮徵科
專門
泌尿生殖器科(婦人科性病科)
(入院隨意)

平市字鎌田町
白土醫院
電二七九

看護婦及見習看護婦募集

肺・肋膜・心臓・胃腸の弱い方に
血となり肉ともなる……
本場 生スッポンの『生血』『生膽』を御勸め致します

生スッポン特約養鼈
平市六丁目通り
さかいや商店
養鼈場 平市正月町一番地
スッポン黑燒、むし燒粉末もあります

貸家廣告
一、壹軒建拾壹間
一、八疊三間、六疊八間
病院又は旅館向外ニ三十坪位の庭園あり
御希望の方は田町石川亭へ御來談下さい。
平市田町
石川亭
電話四三番

女工募集
一、人員二十五名初給八十錢以上
年令十九才ヨリ三十五才迄(但素人ニテモ可)
御希望ノ方來談下さい。
平市月見町
合資會社 興亞特許商事
石川榮三郎